

広告特集 企画・制作 朝日新聞社広告局

LEADERS AS READER

リーダーたちの本棚 VOL. 25



学校法人関西大学 理事長

上原洋允さん

うえはら・よういん

「法」という字は、水が去ると書きます。司法修習生時代「本物の弁士になるには、法律の知識を市民のために生かす、人間的な心の潤いが必要だ」と教わった。司法修習生時代に「法曹界で40年以上にわたって活躍し、2008年に母校・関西大学の理事長に就任。今年迎えた創立125周年に先立ち、昨年二つのキャンパスを新設するなど伝統校の改革を推進する上原洋允さんに、思い出の本を語っていただいた。

我が青春の『ジャン・クリストフ』

幼い頃に父親と死別した私は、戦後2、3年ほどで高松の中学を中退し、大阪に働きに出てきました。当時の大阪はまだ一面焼け野原。機械工場の見習だった私は食うや食わずでしたが、なぜか本は熱心に読んでいました。青春時代に読んだ本への感激も、年々ともにおぼろげになるのですが、この機会にいくつか再読してみようと思ったので、

来日中のロシア皇太子が警護巡査によって負傷させられた大津事件が起ります。見島惟謙「大津事件手記」は、政府の裁判官としての見島が、その事件の内幕を語った彼の苦闘が、自身の言葉で書かれた本です。当時、ロシアと日本との国力の差は今とは比べられないほど大きなものでした。その国家的な緊張の中で、見島惟謙は外国の皇太子の立場を日本の皇室と同様と解釈して犯人を極刑にせよと迫る政府の圧力に屈せず、三権分立を貫きました。これには大変

精神的支柱を失った日本に必要な道徳教育

次は「歌集抄」です。私の家は浄土真宗で、毎晩、母と祖母のお念仏を聞いて育ちました。その後、宗派はともかく仏教徒の日本人として、お釈迦様の教えについて考えるようになり、この本を手に入れました。私は「歌集抄」に、悪人ほど慈悲をかけるべきではないか、といった教訓を感じました。法律家としては正直なところ、この本は、被害者やその家族の感情とは異なることも多いでしょう。ただ、それは出来の悪い子供に、親がより手をかけて愛情を注ぐのと似たことだと考えることもできます。慈悲とは何か。人間が安らかな死を迎えるには何が大切か。人それぞれの心の問題ですが、そこには何か宗教的なものが必要なのだろうかと思っています。

読書体験が与えてくれる 理性と人間的な心の調和

「思いがよすぎ、自分でも驚いています。最初の頃は、その頃に読んだ『ロマン・ローランの『ジャン・クリストフ』』。ペーペーペンでモデルにしたといわれる大作ですが、読み出したらやめられず、一気に読んでしまった記憶があります。特に印象的だったのは少年期から青年期の物語で、貧困の中にあつた主人公、どこか自分と似たものを感じていました。15歳の頃、クリストフは近くに越してきたミナという上流家庭のお嬢さんのピアノの家庭教師となります。移ろいやすい少女の心に翻弄されながら、やがて二人は愛

ゴットフリートを信頼し、人生では己が能うことを着実に達成することが大切だということも教わられます。今の若い人にも読んでほしい本です。正義を権力から守った 児島惟謙の生き方に学ぶ 関西大学の前身の関西法律学校には、現職の裁判官や検察官が講師として来てくださいました。その派遣に尽力したのが、校長の一人である児島惟謙です。彼が大審院長(最高裁判所長官)を任じられた直後、

な苦労があったでしょう。当大学の建学の精神は「正義を権力より守れ」ですが、その礎となった偉業だと思えます。次は山本周五郎の『赤ひげ診療譚』を選びました。幕府の御医になるつもりで長崎の若い医者・保本が、小石川養生所に呼び出される。当初はこんなはずではなかったと医長の「赤ひげ」に反発しながらも、しだいにその精神に感化され、やがては自らも進んで自分の新しい医療技術を提供するようになります。私が一番感銘を受けたのは、言葉ではなく、赤ひげの懸命な姿勢が保本を変えていくその過程です。

最後は梅原猛さんが中学生に向けて行った講義をまとめた『梅原猛の授業 道徳』です。2010年、関西大学は小中高の併設校を開校しました。その際、先生方に特別にお願いしたのは、これからの日本人にとっての道徳、倫理観念の養成。その参考に本書を読んでいただきました。戦後の日本人には、忠孝を重んじた武家にとつての儒教や、殺生や盗みを戒めた庶民にとつての仏教のような精神的支柱がなくなっているように思いますが、自分をどう律していくか、それは今の教育の大きなテーマだと思えます。(談)

育てたい、「考動」する関大人

上原さんが理事長に就任した2008年、関西大学は長期ビジョン「KUI Vision 2030」を策定。その大きな方向性として、「社会を見つめ、変化に挑む」「考動する関大人が世界を拓く」を最上段に掲げた。「考動」というのは、自らの頭でよく考え、自律的かつ積極的に行動することを意味する。本学が国内のこの動きを先導しているのは、国際的な競争に勝つていくためには、国内の関西大学の使命は、失敗をおそれず新しい挑戦に取り組み、世界に羽ばたく人材の育成です。

「就職活動の早期化に 対応した教育環境を」 「本学は13学部、12研究科と三つの専門職大学院をもつ総合大学です。人間健康学部は、健康を中心に福祉、スポーツの学究を深める学部。社会安全学部は、安全安心をデザインできる社会貢献型の人材の育成を目指す学部で、共に今の社会がどのような人材を求めているかを



率の上昇や先行きの不透明な経済情勢によって、就職の買い手市場の傾向がさらに強まっていることに、大学としていかに対応するかも重要だと、上原さんはいいます。「就職活動が長期化、早期化し、三年生の秋頃から学生たちは動きがなくなるという現実があります。三年の秋といえは、本来なら大学生活の総仕上げをする大事な時期。採用選

上原洋允さんがすすめる5冊

『ジャン・クリストフ』(岩波文庫) ロマン・ローラン・著 豊島与志雄・訳 本作や「魅せられた魂」などの業績でノーベル文学賞を受賞した著者の長編小説。数々の苦悩と愛の挫折を経験しながらも虚飾に満ちた階級社会と闘い、時に友情に目覚め、芸術家として真実の道を歩もうとする主人公を力強く描く。

『大津事件手記』(関西大学出版部) 山本周五郎・編注 1891年5月に起こった大津事件に大審院長として関わった見島惟謙の関係手記を活字化し、校注と解説を加えたもの。事件が日本政府に与えた大きな衝撃と、司法権独立を最後まで守った見島の毅然とした意志がその文章から伝わる。

『赤ひげ診療譚』(新潮文庫) 山本周五郎・著 栄達の道を夢見て長崎から江戸に帰ってきたものの、最下層の人々を診る日々を患発する保本。乱暴な言動の中に、思われぬ人々への深いやさしさがにじむ「赤ひげ」こと新出去定。命の現場で師弟の間にいつか通う魂のふれあい。

『赤ひげ診療譚』(新潮文庫) 山本周五郎・著 栄達の道を夢見て長崎から江戸に帰ってきたものの、最下層の人々を診る日々を患発する保本。乱暴な言動の中に、思われぬ人々への深いやさしさがにじむ「赤ひげ」こと新出去定。命の現場で師弟の間にいつか通う魂のふれあい。

『歌集抄』(岩波文庫) 金子大栄・校注 親鸞の死後、異説が流布した現状を嘆いたその弟子(一般的には唯円が定説)が、師の言葉をもとに編みだしたといわれる語録集。「本願」「念仏」「往生」など、浄土真宗の教義の根幹に関わるさまざまな、親鸞自身の平易な言葉として語られている。

『梅原猛の授業 道徳』(朝日文庫) 梅原 猛・著 「人間の欲望は動物より強い。道徳がなければ人間は自利の塊」と説く著者が、宗教や夏目漱石、宮沢賢治などの小説を題材に、子供たちに道徳について語る。上原さんは「母親の愛に道徳の根源をおいている点に感銘した」といいます。

世界一 上達が速い 最新刊! 英語耳 勉強法 1日15分、聴き流すだけで、今までの100倍英語が身につく! 医学博士 斉藤英治 「英語耳」「英語脳」になる 特殊音源CDつき! 29万部突破!!のベストセラー!! 世界一わかりやすい 速読の教科書

20代で やつておきたいこと 川北義則 「この本を読んでも、いま頑張らないで、いつ頑張るんだ」と、 就活へのモチベーションが上がった! (21歳 大学生女性) 31刷 26万部!! 絶賛重版中! 20代の読書で、人生は決まる! 20代で経験しておきたいこと... 絶対覚えておきたい天人のルール。 自分自身1%比る生き方をやめよう。

人を動かす人になるために 知っておくべきこと 渡邊美樹 ジョン・C・マクスウェル 9刷 絶賛重版中!!

疲れない体をつくる 免疫力 24刷 38万部 病気になる体をつくる 免疫力 2刷 絶賛重版中!!

No.1理論(お金儲け篇) 西田文郎 もっと稼ぐ力をつける方法

三笠書房 王様文庫 18万部突破! ブッダの言葉 植西 聡 「いいこと」がいっぱい起る! 禅の言葉 植西 聡

朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、上原洋允さんが語るリーダー論を紹介しています。http://adv.asahi.com